町の財産と貯金

公有財産	金額/面積
土地	1,606万2千㎡
建物	13万3千㎡
有価証券	136万円
出資による権利	3,346万円
債権	**金額**
医師研究資金等貸付金	6,025万円
助産師看護師修学資金貸付金	1,631万円
診療看護師研究資金等貸付金	200万円
合　　計	7,856万円
基金（貯金）	**金額**
財政調整基金	14億9,890万円
減債基金	7億7,480万円
奨学基金	1,472万円
役場庁舎等整備基金	1億6,415万円
まちづくり事業基金	1億1,300万円
国民健康保険給付費等支払準備基金	4,671万円
交通対策事業基金	5,048万円
海鳥保護基金	269万円
地域福祉基金	3億1,523万円
介護保険給付費等準備基金	1億9,140万円
特別養護老人ホーム整備基金	2,533万円
人づくり事業基金	3,396万円
まちづくり応援基金	9,020万円
教育施設整備基金	2億1,509万円
町営住宅等整備基金	1億7,439万円
助産師看護師修学基金	809万円
保育士等修学資金等基金	801万円
森林環境譲与税基金	1,455万円
前川富義奨学基金	3,000万円
合　　計	37億7,170万円

町の借金

区分	現在高
道路・橋りょう・河川施設	2億9,811万円
港湾・漁港施設	4億1,939万円
学校教育施設	10億3,564万円
社会教育施設	4億4,978万円
公営住宅施設	4億9,414万円
児童福祉施設	2億5,242万円
水産業振興施設	1億747万円
農林業振興施設	2億866万円
町有林・草地整備	6,681万円
消防施設	6,910万円
観光・レクリェーション施設	2,795万円
港湾上屋施設	3,359万円
簡易水道施設	2,963万円
介護サービス施設	3,524万円
その他	31億9,888万円
合　　計	67億2,681万円

特別会計

（単位：千円）

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	734,872	724,470	10,402
後期高齢者医療	155,000	153,917	1,083
介護保険事業	1,052,293	1,019,242	33,051
簡易水道事業	56,117	55,353	764
港湾上屋事業	8,787	8,787	0
合　　計	2,007,069	1,961,769	45,300

水道事業会計

（単位：千円）

収益的収入及び支出		決算額	対前年度増減額
収入	水道事業収益	205,294	1,344
	（営業収益）	(172,016)	(△25,249)
	（営業外収益）	(33,216)	(26,531)
	（特別利益）	(62)	(62)
支出	水道事業費用	195,139	△2,687
	（営業費用）	(186,312)	(△2,556)
	（営業外費用）	(8,477)	(△481)
	（特別損失）	(350)	(350)
資本的収入及び支出		**決算額**	**対前年度増減額**
収入	資本的収入	34,900	12,900
	（企業債）	(34,900)	(12,900)
支出	資本的支出	102,990	14,096
	（建設改良費）	(39,090)	(12,110)
	（企業債償還金）	(63,900)	(1,986)

※決算額は消費税差引後の額です
※収益的収支決算　利益　10,155 千円
資本的収支額　収入不足額　68,090 千円
資本的収支の不足額については、過年度分損益勘定留保資金で補填しています

下水道事業会計

（単位：千円）

収益的収入及び支出		決算額
収入	水道事業収益	366,970
	（営業収益）	(69,337)
	（営業外収益）	(297,633)
	（特別利益）	(0)
支出	水道事業費用	362,448
	（営業費用）	(340,751)
	（営業外費用）	(21,697)
	（特別損失）	(0)
資本的収入及び支出		**決算額**
収入	資本的収入	152,774
	（企業債）	(27,000)
	（他会計出資金）	(98,625)
	（国庫補助金）	(27,115)
	（負担金等）	(34)
支出	資本的支出	230,475
	（建設改良費）	(49,890)
	（企業債償還金）	(180,585)

※決算額は消費税差引後の額です
※収益的収支決算　利益　4,522 千円
資本的収支額　収入不足額　77,701 千円
資本的収支の不足額については、過年度及び当年度分損益勘定留保資金で補填しています

一般会計｜歳入

（単位：千円）

区分	令和7年度 決算額	構成比(%)	対前年比 増減額	率(%)
町税	753,844	8.7	26,022	3.6
（町民税）	(358,986)	-	(27,226)	-
（固定資産税）	(262,235)	-	(△235)	-
（軽自動車税）	(21,579)	-	(397)	-
（町たばこ税）	(77,915)	-	(△1,665)	-
（都市計画税）	(27,466)	-	(18)	-
（入湯税）	(5,663)	-	(281)	-
地方譲与税	71,532	0.8	1,227	1.7
利子割交付金	1,461	0.0	1,123	332.2
配当割交付金	3,359	0.0	115	3.5
株式等譲渡所得割交付金	5,910	0.1	894	17.8
法人事業税交付金	14,988	0.2	536	3.7
地方消費税交付金	192,705	2.2	14,261	8.0
環境性能割交付金	6,745	0.1	447	7.1
地方特例交付金	2,084	0.0	△25,646	△92.5
地方交付税	3,499,353	40.2	30,229	0.9
交通安全対策特別交付金	0	0.0	0	0.0
分担金及び負担金	130,985	1.5	37,580	40.2
使用料及び手数料	132,125	1.5	△367	△0.3
国庫支出金 ※補助金など	937,494	10.8	171,838	22.4
道支出金 ※補助金など	445,291	5.1	58,987	15.3
財産収入	46,170	0.5	15,182	49.0
寄附金	264,905	3.0	△390	△0.1
繰入金 ※貯金取崩し	363,552	4.2	20,993	6.1
繰越金	141,570	1.6	54,272	62.2
諸収入	270,888	3.1	63,571	30.7
町債 ※借金	1,418,200	16.3	652,017	85.1
合　　計	8,703,161	-	1,122,891	14.8

一般会計｜歳出

（単位：千円）

区分	令和7年度 決算額	構成比(%)	対前年比 増減額	率(%)
議会費	54,021	0.6	△738	△1.3
総務費	1,008,279	11.9	81,164	8.8
民生費	1,459,280	17.3	195,728	15.5
衛生費	443,568	5.2	△196,598	△30.7
労働費	3,772	0.0	73	2.0
農林水産業費	279,444	3.3	4,462	1.6
商工費	306,238	3.6	23,405	8.3
土木費	900,186	10.7	△34,547	△3.7
消防費	308,266	3.6	25,976	9.2
教育費	1,141,954	13.5	689,765	152.5
災害復旧費	401,864	4.8	125,047	45.2
公債費 ※借金返済	901,679	10.7	12,811	1.4
諸支出金	1,243,631	14.7	86,935	7.5
予備費	0	0.0	0	0.0
合　　計	8,452,182	-	1,013,483	13.6

※表示単位未満の数値を四捨五入していますので、数値が一致しない場合があります

令和７年度 羽幌町の決算報告

令和７年度の各会計決算が監査委員の審査を経て各会計決算特別委員会で審議を終え、町議会9月定例会で認定されました。

一般会計の歳入総額は87億316万円、歳出総額は84億5,218万円で、差引き2億5,098万円の黒字決算 となっています。

効率的で健全な財政運営を

歳入のうち国から交付される「地方交付税」が約4割を占め、町税は1割程度となっていますが、今後も町税等の自主財源の確保を図りつつ、歳出においては、町の施設の維持管理や更新、除却等を計画的に実施する公共施設マネジメント計画等により、効率よく効果的で健全な財政を目指します。

目的税の使途内訳

都市計画税（うち27,421千円）は下水道事業に、入湯税（5,663千円）は観光振興事業に使われています。

また、地方消費税交付金のうち、引き上げ分（105,888千円）は国民健康保険事業及び介護保険事業に使われています。



町の財政状況をお知らせします！

健全化判断比率と資金不足比率

令和７年度決算に基づく財政健全化の指標を公表します。

この指標は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、町民の皆さんへ現在の羽幌町の財政状況をお知らせするものです。

いずれの指標も基準を下回っていますが、羽幌町の財政状況が厳しいことには変わりなく、引き続き行財政改革を進め、財政の健全化に取り組んでいかなければなりません。

▼健全化判断比率

健全化判断比率とは、一般会計と特別会計等の財政状況に基づき、４つの項目について指標化し、判断するものです。

健全化判断比率のうち、１つでも早期健全化基準以上である場合は財政健全化計画を、財政再生基準以上である場合は財政再生計画を策定する必要があります。

令和７年度決算に基づく羽幌町の健全化判断比率は、いずれも**早期健全化基準を下回っています。**

健全化判断比率	羽幌町の指標		早期健全化基準	財政再生基準
	令和７年度	令和６年度		
実質赤字比率	―	―	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	―	―	20.0%	40.0%
実質公債費比率	9.2%	9.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	―	―	350.0%	

※赤字でないもの及び算定されないものは、「－（該当なし）」で表示しています

▼用語の解説

実質赤字比率（じっしつあかじひりつ）：一般会計における赤字の程度を指標化し、財政運営が深刻かどうかを判断するものです。

連結実質赤字比率（れんけつじっしつあかじひりつ）：実質赤字比率を、介護保険事業等の特別会計や水道事業等の公営企業会計を含めた全会計に適用したものです。

実質公債費比率（じっしつこうさいひひりつ）：一般会計等が負担する元利償還金（借金返済額）を合算して指標化したものです。この比率が18％を超えると地方債を発行する際に国の同意ではなく、許可が必要になります。また、25％以上で財政健全化団体に、35％以上で財政再生団体となり地方債の発行が制限されます。

将来負担比率（しょうらいふたんひりつ）：地方債の残高をはじめ、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

▼資金不足比率

水道事業や下水道事業等、公営企業会計の資金不足を料金収入等の事業規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

20%以上で経営健全化団体となり、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定する必要があります。

羽幌町の公営企業会計は、いずれも**資金不足は生じていません。**

公営企業	羽幌町の指標		経営健全化基準
	令和７年度	令和６年度	
水道事業会計	―	―	20.0%
下水道事業会計	―	―	20.0%
簡易水道事業特別会計	―	―	20.0%
港湾上屋事業特別会計	―	―	20.0%

※資金不足が発生していないため、指標となる資金不足比率は「－（該当なし）」と表示しています

➔お問い合わせ　財務課財政係　☎ 68-7001（課直通）

令和７年度に実施した主な事業

区分	事業名	金額
民生費	子ども発達支援センター建替事業（建設工事、解体設計）	2億3,723万円
	福祉関連複合施設改修事業（旧病院施設改修設計）	1,110万円
衛生費	廃棄物収集処理事業（焼尻地区ごみ収集車更新、車庫建替）	1,687万円
農林水産業費	農業農村整備事業（工事費、測量試験費等　二股第２南地区他）	3,953万円
土木費	橋梁長寿命化事業（寿４線橋補修工事、上築11線橋補修設計業務）	3,499万円
	道路維持車両整備事業（除雪ドーザ、ロータリ除雪車購入）	1億570万円
	国直轄港湾整備事業（羽幌港物揚場改良）	6,000万円
	公営住宅建設事業（幸町団地　１棟２戸式　１棟）	6,070万円
教育費	ＧＩＧＡスクール運営事業（ネットワーク環境整備他）	1,110万円
	羽幌小学校施設管理事業（冷房設備設置）	7,047万円
	焼尻中学校施設管理事業（改修設計）	1,119万円
	天売複合化施設建設事業（建設工事）	7億2,080万円
災害復旧費	農業施設災害復旧事業（令和6年8月豪雨による復旧工事他）	7,061万円
	土木施設災害復旧事業（令和6年8月豪雨による河岸補修他）	3億3,125万円
簡易水道事業特別会計	水道維持事業（焼尻白浜浄水場原水濁度計整備他）	1,197万円

令和7年度の決算を基に町民の皆さん1人あたりの税金負担額と、世帯・個人に使われた金額を計算しました。

町民１人あたりの町税負担額

132,649円

（753,844千円÷5,683人）

昨年度と比べ8,384円の増

１世帯あたりに使われた額

2,605,482円

（8,452,182千円÷3,244世帯）

昨年度と比べ349,964円の増

町民１人あたりに使われた額

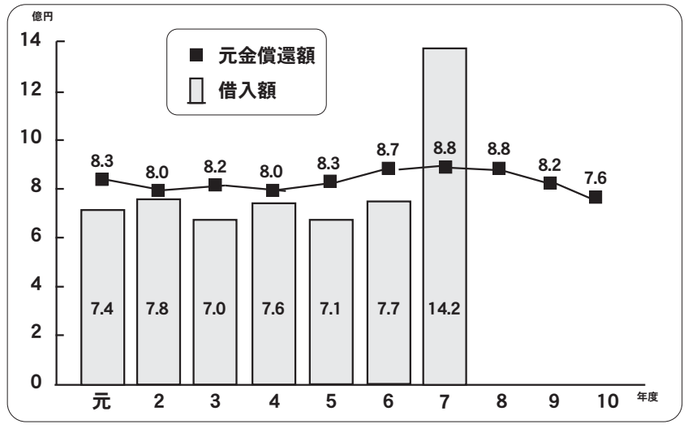
1,487,275円

（8,452,182千円÷5,683人）

昨年度と比べ217,222円の増

※人口・世帯数は令和8年3月末日現在

町債年度別借入額・償還額の推移（一般会計）



令和元年度～令和７年度は実績、令和８年度以降は令和７年度末残高に対する償還額

令和７年度に実施した主な事業は上表のとおりです。

一般会計の借入額は棒グラフ、償還額は折れ線グラフのとおりで、令和７年度の借入は天売複合化施設建設事業が主なものとなっています。償還額は、概ね横ばいで推移しており、今後も町の現状に応じた財政運営を心がけるとともに、住民生活の向上や地域経済の発展に寄与できる事業を、財源等を考慮しながら進めてまいります。